

# 大型車のタイヤ脱着時のホイール・ナットの適切な点検・整備

別紙1

(ホイール・ナットにワッシャーが付いている場合(ISO方式)を例として図示)

車輪脱落事故を起こした車両の  
ワッシャー付ホイール・ナット



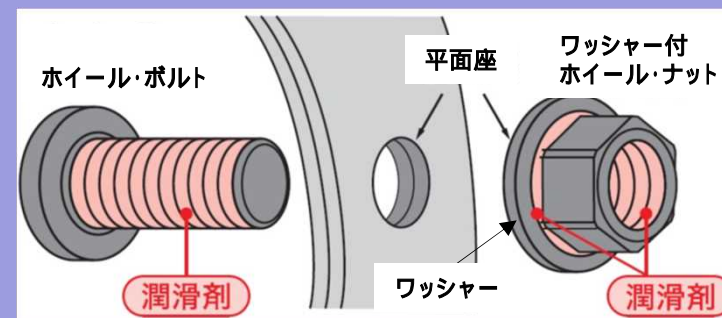
潤滑剤が塗布されていない。  
(特に、ナットとワッシャーの間)  
ワッシャーがスムーズに回転しない。

## 適切な点検・整備

ホイール・ボルト、ナットを清掃の上、  
必ず潤滑剤を塗って下さい。

の作業を行っても、ワッシャーがス  
ムーズに回転しない場合には、交換し  
て下さい。

## 潤滑剤の塗布箇所



**注意: ナットとワッシャーの間に、潤滑剤を  
忘れずに塗布して下さい。**

ホイール・ボルト、ナットが適切に清掃されていなかったり、潤滑剤が塗布されていないとナットを締めても、十分な締付力が得られず、ナットが緩む原因となります。

そのほか、大型車のタイヤ取付時に気を付けるべき点は、「大型車の車輪脱落事故防止のための啓発用チラシ」をご確認下さい。